

令和4年度の審議の進め方

(一括審議・報告)

令和4年9月9日
中部地方整備局

令和4年度における審議区分

中部地方整備局の対応

再
評
価

■メリハリある審議

- ・ 事業進捗等に大きな変更がない事業は、資料を簡明化(一覧表等)し審議を効率化
- ・ 事業進捗等に大きな変更がある事業は、十分な審議時間を確保して審議

⇒ メリハリある審議(重点・一括)を継続



メリハリある審議 (「進捗状況等に大きな変更が生じた事業」の審議の充実を図る。)

令和4年度における審議区分

重点審議

(進捗状況等に大きな変更が生じた事業)

- ・ 委員会において、十分な審議時間を確保して審議の充実を図る

以下の項目に1つでも該当する事業

- (1) 事業計画が大きく変更された事業
- (2) 需要量等が大きく減少する事業
- (3) 事業費が大きく増加する事業
- (4) 事業進捗の予定が大きく変更される事業
- (5) その他の要因により進捗状況等に大きな変更が生じた事業

一括審議

(進捗状況等に大きな変更が生じていない事業)

- ・ 一覧表等を用い簡潔に説明、審議の効率化を図る

※委員会での審議の必要性について委員から提示された場合は、重点審議に変更

- ① 委員会前に資料を送付し、意見等を収集
- ② 委員会当日は、県知事等の意見や事前に収集した意見について報告を行い審議
- ③ 説明は、前回からの変更点、進捗状況、進捗の見込みについて簡潔に行う。

報告

- ・ 報告の対象事業(流域委員会等で審議を行った事業)の説明は、簡潔に行う。

一括審議(進捗状況に大きな変更が生じていない事業)の効率化

前回評価からの変更点、進捗状況、対応方針(原案)等について、以下の様式を用い説明の簡明化を図り、審議を効率化する。

令和○年度 第○回 中部地方整備局事業評価監視委員会 再評価(一括審議)案件一覧(案)

番号	事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性	事業の投資効率性 上段:前回評価時 下段:現時点	都道府県・政令市等の意見	
1 (資料●)	国道○号 ○○道路	自 ○○県○○市 至 ○○県○○市	○○年度事業化 ○○年度用地着手 ○○年度工事着手	0,000 0,000	※事業採択の際の前提となっている 需要の見込みや地元情勢の変化 等事業を巡る社会経済情勢等の変化 の状況等	※事業の進捗率、残事業の内容等	※事業の実施のめど、進捗の見通し等	※技術の進展に伴う新工法の採用 等による新たなコスト削減の可能性 や事業手法、施設規模等の見直し の可能性	【事業全体】 総便益B:0,000億円 総費用C:0,000億円 B/C=0.0	【残事業】 総便益B:000億円 総費用C:000億円 B/C=0.0	継続
									【事業全体】 総便益B:0,000億円 総費用C:0,000億円 B/C=0.0	【残事業】 総便益B:000億円 総費用C:000億円 B/C=0.0	
									・○○改訂に伴い主に○○が変更		
2 (資料●)	国道○号 ○○道路	自 ○○県○○市 至 ○○県○○市	○○年度事業化 ○○年度用地着手 ○○年度工事着手	0,000 0,000	※事業採択の際の前提となっている 需要の見込みや地元情勢の変化 等事業を巡る社会経済情勢等の変化 の状況等	※事業の進捗率、残事業の内容等	※事業の実施のめど、進捗の見通し等	※技術の進展に伴う新工法の採用 等による新たなコスト削減の可能性 や事業手法、施設規模等の見直し の可能性	【事業全体】 総便益B:0,000億円 総費用C:0,000億円 B/C=0.0	【残事業】 総便益B:000億円 総費用C:000億円 B/C=0.0	継続
									【事業全体】 総便益B:0,000億円 総費用C:0,000億円 B/C=0.0	【残事業】 総便益B:000億円 総費用C:000億円 B/C=0.0	
									・○○改訂に伴い主に○○が変更		

「報告」の簡素化

当該案件の再評価の概要について、流域委員会※等での審議状況を踏まえ、以下の様式を用い簡潔に報告する。

令和○年度 第○回 中部地方整備局事業評価監視委員会 報告案件一覧（案）

番号	事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性	事業の投資効率性 上段:前回評価時 下段:現時点	流域委員会の意見	
1 (資料●)	○○河川改修事業	○○県○○市、○○ 町、○○村	○○年度 ～○○年度	0,000 0,000					【事業全体】 総便益B:0,000億円 総費用C:0,000億円 B/C=0.0 【事業全体】 総便益B:0,000億円 総費用C:0,000億円 B/C=0.0	【残事業】 総便益B:000億円 総費用C:000億円 B/C=0.0 【残事業】 総便益B:000億円 総費用C:000億円 B/C=0.0	継続
2 (資料●)	○○河川改修事業	○○県○○市、○○ 町、○○村	○○年度 ～○○年度	0,000 0,001					【事業全体】 総便益B:0,000億円 総費用C:0,000億円 B/C=0.0 【事業全体】 総便益B:0,000億円 総費用C:0,000億円 B/C=0.1	【残事業】 総便益B:000億円 総費用C:000億円 B/C=0.0 【残事業】 総便益B:000億円 総費用C:000億円 B/C=0.1	継続

※学識経験者等から構成される委員会等

以下、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領 第6の6 を抜粋し掲載

河川事業、ダム事業については、河川整備計画策定後、計画内容の点検のために学識経験者等から構成される委員会等が設置されている場合は、事業評価監視委員会に代えて当該委員会で審議を行うものとする。